

横浜労災病院で上肢の骨折の治療を受け作業療法を受けた患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を当院倫理委員会の審査を経て病院長の許可のもと行っています。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、あなたの診療情報や検査などで残った検体の下記の研究への利用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして研究に利用させていただきます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用するまたは提供されることを希望されない場合、また研究に関する質問等ございましたら、下記に記載している問合せ先へご連絡下さい。利用を希望されないことが今後の診療に何らかの影響を与えることは一切ありません。

研究課題名 (承認番号)	上肢骨折患者の痛みの自己効力感と生活時間および役割の関連性(2024-45)
当院の研究責任者 (所属)	井上 由貴 (研究責任者) (中央リハビリテーション部, 神奈川県立保健福祉大学大学院保健福祉学研究科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	神奈川県立保健福祉大学大学院保健福祉学研究科 笹田哲
本研究の目的	本研究は上肢骨折の痛みの自己効力感と生活時間および役割の関連性を明らかにする
研究の方法 (利用する試料・情報)	対象者は当院にて上肢(鎖骨, 上腕骨, 前腕骨, 手指)骨折の診断のもと、2025年1月までに入院し、作業療法を実施された方です。利用する情報は、作業質問紙、役割チェックリスト、疼痛評価、Pain Self-Efficacy Questionnaire 日本語版の結果と、基本情報(年齢, 性別, A0分類, 手術待機期間, 既往歴, 同居者の有無, 利き手, 受傷側, 既往歴)を利用します。これらの情報を、当院カルテや検査用紙の結果より情報を収集し、後向き観察研究を実施します。研究実施期間は2025年2月以降の倫理委員会で承認され次第開始します。
利用する試料・情報の 該当期間	2022年12月1日から2025年1月31日まで
試料・情報の他の 研究機関への提供 および提供方法	試料は使用せず、情報は個人情報を削除した上で、パスワードロック付きのSSDメモリーを使用して、パスワードロックをかけたエクセルデータに入力し、SSDメモリーに残す。その後、バックアップ用ハードディスクにデータを写して保管し解析を行う。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたします。研究成果は学会や論文等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先 (研究への利用を拒否 される場合を含む)	担当者: 井上 由貴 所属: 中央リハビリテーション部, 神奈川県立保健福祉大学大学院保健福祉学研究科 メールアドレス: otyuki.1989@gmail.com
備考	